

三軒家東小学校 家庭学習の手引き 保存版

1. はじめに

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。

毎日一定時間、机に向かう習慣が後々の学習に対する姿勢に大きな影響を与えます。結果として学力向上につながります。

2. 家庭学習とは？

家庭学習では、「宿題」だけでなく「自主学習」もします。宿題は、必ずしなければならない課題です。一方、自主学習は、自ら課題を設定して取り組む学習です。

宿題

- ・音読
- ・漢字練習
- ・計算練習 など

自主学習

- ・予習や復習
- ・調べ学習
- ・日記、作文、読書 など

3. 家庭での援助

家族のあたたかい助言や励ましの言葉で、子どもは「やる気」を起こします。また、きちんとできるまで根気強く支援していくことで、「やればできる」という自己肯定感が育ちます。子どもの自尊感情を育てるために、励ましたり援助したりすることが大切です。

宿題や持ち物の準備など、最初は家族の手助けが必要です。そして、徐々に自分でできるように支援していきましょう。

				
・学校からの手紙の確認	・学習場所の整理整頓	・炊事や洗濯などのお手伝い	・本の読み聞かせ	・自然とふれあう体験
・宿題や持ち物の確認	・本や辞書の整備	・一緒に買い物に行く	・子どもの音読を聞く	・文化とふれあう体験

4. 家庭学習のさせ方

- ① 担任が出す「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き（各学年）」の中から選んでさせてください。
（高学年には自分で考えさせてもいいでしょう。）
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときには、読書やお絵かきでも何でも構いませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大切です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

5. 時間のめやす

- | | |
|------|------------|
| ・低学年 | 15分から20分以上 |
| ・中学年 | 30分から40分以上 |
| ・高学年 | 50分から60分以上 |



6. 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習い事、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合って、無理のないように時間設定してください。

② 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強しては、効果は上がりにくいです。お子さんが落ち着いた環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③ 見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけてあげてください。褒めたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いします。

④ 学校との連携

お子さんの学習の様子に何かお気づきになることがあれば担任にお知らせください。

